

Title	芸術と経済 ( 四 )
Sub Title	
Author	阿部, 秀助
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1919
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.13, No.4 (1919. 4) ,p.503(61)- 509(67)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19190400-0061">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19190400-0061</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

Iowa Community in 1874, an observer says that "Most of the people are French, and this is the language mainly spoken, though I found that German was also understood. Besides the French there are among the members one American, one Swiss, a Swede and a Spaniard and two Germans."<sup>1</sup> He also found that there were sixty-five members in all,<sup>2</sup> or fifty-nine French and six others, including one American.

Such homogeneity of personnel would tend, under ordinary circumstances, to insure success in any undertaking, but, in the Icarian movement, it was apparently a hindrance, for it had the tendency of accentuating the isolation of the Community. The fundamental cause, however, of the failure of Etienne Cabet's pet scheme is to be sought, as in the case of the Fourierite movement, in its untimeliness. When the French Community was first started in Texas in 1848, the Fourierism was already beginning to be given up and forgotten in the great wave of prosperity that was sweeping over the entire land. If a movement with native supporters could not succeed, it is not surprising that a similar undertaking by foreigners was attended with no better results.

<sup>1</sup> Northhoff: *Communitistic Societies of the United States*, p. 337.

<sup>2</sup> *Ibid.*, p. 336.

## 藝術と經濟(四)

阿部 秀助

以太利觀光の客は月光流るゝが如きアルノ河畔に於て偉大なる藝術的寶庫を發見するを得可し、而して此偉大なる藝術的寶庫たるフロレンスの物的基礎が果して何れの點に存するやは余輩が主として以下考察せんとする處なり。(一)

蓋、中世紀末に於ける資本主義的運動を助長せし原因に就きては、一面當時の商業に負ふ處少からざるも、然かも他に二大原因の存するあり、即ち之れが一は最近エーレンベルピ及びゾムバルトの諸氏によりて證明せられし戰爭の資金吸收熱と他は教會の課税となす。(二)

而して以上三個の原因中、余輩が本問題を考察する上に於て特に重要なる意義を有する第三の原因に就きて見るに、所謂教會税なるもの、仕拂方法たるや、其地

方の通貨を以てするにあらずんば、彼の英國に見しが如く、其地方の特産物を以てする結果(三)、羅馬の本山に於て之れを自己の用度に充つる爲めには、勢ひ是等の地方的産物を貨幣に換へ、又た地方的通貨も一般に使用せらるゝ通貨に取換ゆるの必要あり、斯くの如きは當時に於て兩替なる經濟的職務の存在を必要ならしめし所以にして、其他課税せらる可き地方が羅馬を去る遠隔の場合にありては、單に徴收上、多くの時日を要するのみならず、又課税を羅馬に齎らす上に於ても危険多く、随つて送金を容易ならしむる方法即ち約束手形の如き制度の必要を促すに至りしものとなす、而して中世に於ける一種の金權黨たる猶太民族が異教徒たる地位に存することは充分に此任務を解決すること能はずして、其結果、以太利商人の勃興となり、遂に彼等をして近世歐洲に於ける金融機關の創造者たる名譽を恣にせしむるに至れり。

次ぎに法王應對、以太利銀行家の關係が、何れの時、何れの企業家によりて成立するに至りしやの事實に就きては、十二世紀に於て未だ吾人の見出し得ざる處にして、その之れあるに至りしは、グレゴリ九世以來にして、即ち其主要なる關係者はト

スカナの諸市殊にシエナ方面の金融業者にして、其後、グレゴリに次いで法王の位に登りしインノーセント四世の時代にありては、リオン第一結集の議決によりて法王廳がフリードリッヒ二世に戰を宣告すると共に、門徒輩より軍資金を徴收せし結果、益々羅馬對是等金融業者の關係は密接を加ふるに至り、教會税の多くは彼等の手によりて徴收せられ、斯くてシエナのブオンシニョクの此方面に於ける勢力は益々増加するに至りしと、共にアレキサンダー四世の際には、彼以外にシエナのライナルド、トロメイ及スコト、ドメニチ及フロレンスのファルコニエリとウグチオ、マチを加ふるに至りしも、然かも是等金融業者の勢力は遂に一ブオンシニョクに及ばず、彼れはさながら法王廳に於ける金融業者の旗頭として、遂に僧侶を租税徴收上の媒介者たらしむるの制度を打破せしむるに至れり、其後、グレゴリ十世の時代に於ては、課税の徴收は一部の財閥に統一せられ、獨占せられずしてシエナの如きもブオンシニョク以外に三人の金融業者出で、ルカ方面の之れが企業家は専ら愛蘭及英國方面に於て活動し、又フロレンスのトマン、スピグラチ、チ、モッチの如きも法王廳に對して財務的關係を有せしと共に、法王は特にピアツェンツァのスコチ

を舉げて同じく財務上に参加せしむるに至れり、斯くの如きは法王自身が同市の出身者たりしを以てなり、而して以上、法王廳の財務關係者が増加するに至りし有力なる原因は同廳が千二百七十一年リオン結果、新十字軍税を普ねく基督教國に課せんとするに至りしによるものなりとす、然るに其後、此方面に於けるフロレンスの勢力は益々重きを加へヨハン二十一世の際には同市のフロレンス、コバルヂ及アルファニアは、マインツ、トリエル、ザルツブルグ、ブレームン、キョルン、マグデブルグの如き地方の十分ノ一税徴收權を握り、次でニコラウス三世は更に此權利を確實にすると共にフロレンスの富豪スカリスピグラチ、スピニ、ブルチ、リムベルチニ等に命じて公債の應募者たらしめたり、然るに彼れに次で法王の位に登りしマルチン四世に至つては、更に以前の法王よりもより多くの銀行家を招き、斯くてスピグラチは獨逸及蘇格蘭方面に、ブルチは英國方面にアルファニアは匈牙利、波蘭方面に其他ルカのバガネリとリチアルヂ、ピストヤのアマンネリ、フロレンスのブナコルシ等も關係せしが、此際よりフロレンスの法王廳に對する財的關係は漸次シエナを凌駕するに至れり、勿論フロレンスをして斯くの如き地位を有せしむるに至りし

原因は單に以上述ぶるが如き法王廳に對する財的關係のみによるにあらずして、他に英國との羊毛取引、佛蘭西及フランダール方面との毛織物取引等によりしものにして、同市は是等の商業的取引の大なるに至りし結果、之れが通貨は當時に於ける世界的市場に於て流通せらるゝの盛況を呈するに至れり、加ふるにフロレンスの金權黨がシエナの金權黨に比して自由に其勢力を振ふを得しことは、彼等が社會上政治上、舊時の分子を離れて専ら同市の新開地方面に一區劃を構成せしにあり、例者、貴族出身のモッチ、フレスコバルヂ、平民黨のソ德里ニ、カニヂアニ、ベルッチ、チェルチ、法王黨のスピニ、皇帝黨のアバチ等は、何れも舊家に對する憎惡と新たに移住し來りし市民の病的自尊心を好まざる結果、各自團結して自由の市區を組織するに至りしものなりとす。

(註一) フロレンスの原始的狀態は尙ほ羅馬に對するオスチヤの如く、フィオーレンに對する一種の河港として發達せしものなりと信ず、而してフィオーレンは現時フロレンスの近郊に於ける名所の一にして、即ちフロレンスを去る北に約五杆、歩いて僅かに一時間中にて達し得可く、其途次にはサン、ドメニコの附近に彼の「死の島」に一代の名聲を博せしアルノルト、ベクソンの別荘あり、又、フィオーレンに於ける古蹟としては



そが城壁の一部と千八百七十三年以後發掘せられし劇場及浴場あり、次にオスチヤは彼のボンベイが以太利に於ける火山の丘陵地帯に創建せられし都市の代表者なり、對しチヘル河畔のオスチヤは平野に建設せられし都市の典型にして、今日迄發掘せられし結果によれば其街路の如きはボンベイの場合と全く異なりて、秩序整然として恰かも現時の北米合衆國の都市に髣髴たるものあり、而して此市の建築物は其公私の如何を不問、羅馬時代の建築物に對して最も有力なる研究材料を提供するものにして、殊に粧飾的壁畫發達上に於て最も貴重なるものなりとす。

(註二) 十三、十四兩世紀に於ける兵制の改革と兵器の改善とは自から、一面、戰術上に大なる變化を與ふるに至りしと共に、又、他の一面に於ては大なる資金を必要とするに至れり、此點に關する詳細なる説明は Ehrenberg, Zeitlicher Fugger, u. g. 14. a. Sombart, Krieg und Kapitalismus.

(註三) 中世に於て英國産に匹敵せしものは只だ西班牙産なりしも當時の商業上に於ては到底英國品の敵にあらず、斯くの如く英國産の羊毛が當時の歐洲にありては非常なる聲價を有せし主要なる原因は氣候上の關係にして、即ち空氣が濕氣に富める結果牧草をして青々たらしめ、且つ降雨の頻繁なることは更に之れが生殖を助成せり、而して此牧草によりて生活せし羊より採取せられし羊毛は一種の光澤を有し當時にありて珍重せられしものなりとす、尙ほ千二百七十三年に於ける英國方面より之れが輸出額は約二千萬麻に達し以太利商人は是等の現物を課税の代りとして

收むると共に、多く之れを對岸フランダール方面に齎らせしものにして何んとなれば當時本國に輸入することは陸上よりは其運賃甚しく高價にして、海上にては未だ英國と以太利との間に海上交通開けざりし結果殆んど不可能なりしを以てなり、而して兩國の間に直接海上の交通を見るに至りしは十四世紀以後にして此時期より英國産の羊毛は以太利の市場に現はるゝに至れり